

富士宮市 企業紹介ガイドブック

Fujinomiya City Company Introduction Guide Book



私の地元で、誇れる仕事。

就職より、発見を先にしてみよう。
富士宮で働く魅力に出会うガイドブック。



掲載企業

101社

令和7年度版

CONTENTS

● 富士宮市の魅力紹介

富士宮市の歴史 P04

富士宮市の世界文化遺産 P05

富士宮市の産業 P06

富士宮市の食 P08

富士宮市の観光 P09

● わたしたちの1日 P10

● 富士宮市の事業紹介 P18

● 企業情報一覧

企業紹介ページの見方 P21

企業紹介ページ目次 P22

企業紹介ページ P24



01

富士宮市の 歴史



富士宮市は、平安時代に造営された富士山本宮浅間大社の門前町として発達しました。昭和17年(1942年)に大宮町と富丘村との合併をもって、全国で192番目の市として誕生し、以来昭和30年(1955年)には富士根村と、昭和33年(1958年)には北山村・上野村・上井出村・白糸村と、平成22年(2010年)には芝川町と合併し、現在の富士宮市となりました。

富士宮市は、広大な森林、高原、豊富な湧水など自然環境に恵まれたまちです。豊かな自然が、多様な文化・産業を生み出しています。富士宮市が誕生した当時の人口は、34,010人6,058世帯でしたが、現在では、126,348人 59,459世帯(令和7年4月1日現在)へと大きく成長をしています。



市制施行80年のあゆみ

年	富士宮市の主な出来事
1942年	・大宮町と富丘村が合併し、富士宮市が誕生
1949年	・「狸沼」が「田貫湖」に改められる
1952年	・ダイナ台風により被害が出る
1959年	・逢来橋が完成し、渡船が廃止される
1960年	・深刻な水不足で自衛隊の給水活動を受ける(北部)
1961年	・富士宮鉄工団地組合結成
1965年	・有料道路[富士宮道路]完成
1968年	・近江八幡市と夫婦都市提携
1973年	・学校給食センター完成
1974年	・星山放水路完成
1976年	・芝川町宮総合運動場(現芝川スポーツ公園)完成
1981年	・富士宮駅前の大鳥居が解体撤去
1983年	・富士宮駅前広場が完成し、現在の富士宮駅舎完成
1989年	・市立中央図書館が現在地(宮町)に開館
1991年	・現在の市役所庁舎が完成
1999年	・逢来橋が現橋に架け替え
2001年	・北山工業団地が操業を開始
2013年	・「富士山」が世界文化遺産に登録される
2017年	・静岡県富士山世界遺産センターがオープン
2022年	・市制施行80周年を迎える

富士宮市の今と昔



富士宮駅前の昔↑
今→



神田川沿いの昔↑今↓



神田通りの昔↑今↓



02

富士宮市の

世界文化遺産



富士山域

●山頂の信仰遺跡群

富士山本宮浅間大社奥宮、浅間大社東北奥宮（久須志神社）や山頂の鳥居、山頂の石仏群等で構成されています。

●大宮・村山口登山道

富士山本宮浅間大社を起点とし、村山浅間神社を経て山頂の南側に至る登山道で、現在は六合目以上のみ利用されています。



富士山本宮浅間大社

全国に1,300余ある浅間神社の総本宮です。祭神は、木花之佐久夜毘売で、境内には、国の重要文化財に指定されている徳川家康寄進の本殿や、富士山の伏流水が湧き出る特別天然記念物の湧玉池があります。境内には約500本の桜があり、桜の名所として知られています。



山宮浅間神社

富士山本宮浅間大社の起源となる神社といわれており、本殿が存在しない神社です。遥拝所は富士山を直接拝み、祭儀を行うことを目的として築造されたと推定される施設です。



村山浅間神社

富士山を信仰する者の修行の場であり、かつての村山登山道の起点でした。明治初年には興法寺という寺院がありました。境内には、神仏習合の習わしとして神社とともに大日堂が祀られています。



人穴富士講遺跡

人穴浅間神社の境内にあり、犬涼み山溶岩流内にできた長さ約83mの溶岩洞穴「人穴」と富士講講員が建立した200基を超える石碑などがあります。



白糸の滝

地層の境目から富士山に降った雨水が湧き出て、幾筋もの糸のように落ちる滝です。幅約150m以上、高さ約20mと幅が広いのが特徴です。富士山が作り出す造形の雄大さを伝えてくれます。



静岡県富士山世界遺産センター

平成29年12月に開館した静岡県富士山世界遺産センターは、世界遺産の根拠となる「世界遺産条約（国際条約）」に規定されている、世界遺産を「保護し、保存し、整備し及び将来の世代へ伝えることを確保する」拠点施設であり、学術調査機能などを併せ持つ施設です。

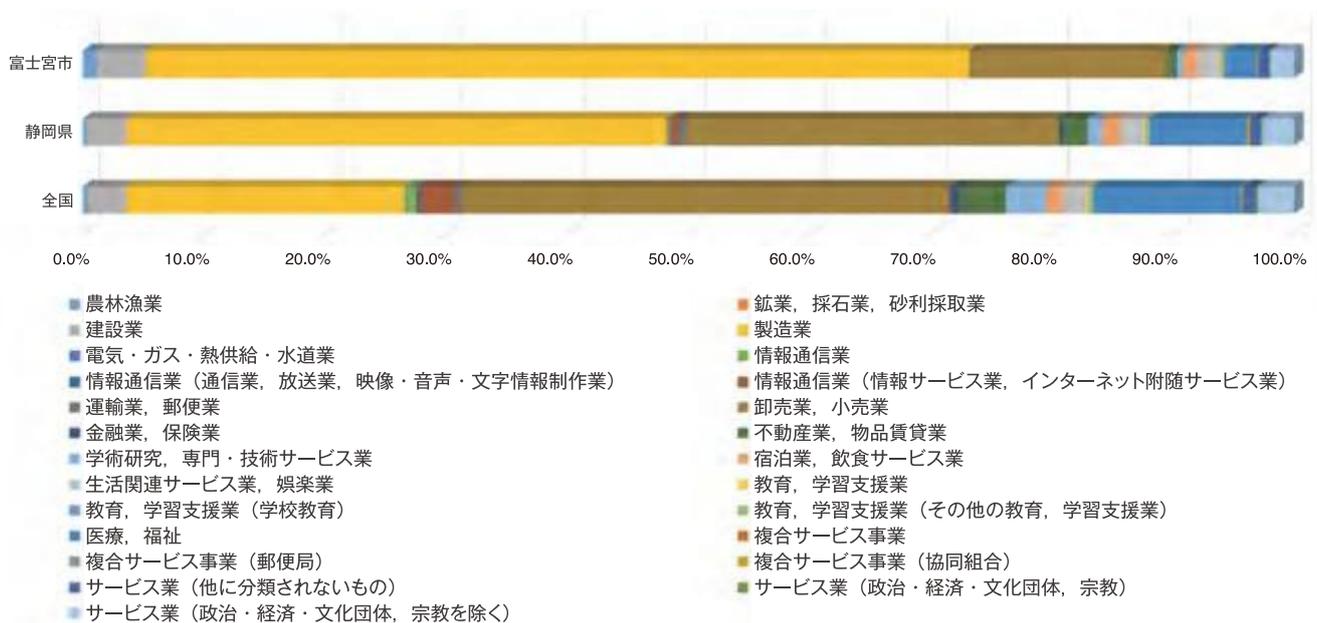
世界文化遺産「富士山」を「永く 守る」「楽しく 伝える」「広く 交わる」「深く 究める」という4つの柱を事業として、富士山の歴史・文化・自然などを多角的に紹介しています。

03

富士宮市の 産業



産業別売上高構成比(2021年)



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工
 【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す

隠れた実力のある “ものづくりのまち”

産業別売上高の半分以上(68.0%)を占めるのが製造業です。全国平均(23.0%)や、「ものづくり県」として知られている静岡県平均(44.6%)よりも高くなっています。これは、市内に多くの工業団地があり、全国の優良企業が進出しているからです。

自然の恵を生かした “農業のまち”

農業・林業の占める割合が1.1%。これは、全国(0.4%)、静岡県(0.3%)の平均よりも、かなり高い数字です。県下一の酪農地帯である「朝霧高原」、国内屈指の生産量を誇る養鱒業など、富士山の湧水や自然の恵みを背景に、農業が発達しています。

成長が期待される “観光のまち”

宿泊業・飲食サービス業は1.2%で、全国平均(1.3%)とほとんど変わらない数字です。市内の観光エリアごとに見ると、朝霧高原エリアの入込客数が多くなっており、注目されていることがうかがえます。令和5年度の富士宮市全体の入込客数は、約532万人となり、前年度からは約7%増加しました。

製造業

バラエティに富んだ製造業



富士宮市には、富士川・芝川・潤井川が流れ、水と関わり深い産業である製紙業が発達してきました。その後、市内に多くの工業団地が造成されると、豊かな自然環境、清浄な空気、首都圏への交通アクセスの良さを背景に、精密機器メーカー・医療機器メーカー・飲料メーカー・食品メーカーなどの全国企業が進出しました。

農業

規模の大きな農業

富士山の西麓にある高原地帯「朝霧高原」は、県内でも名高い酪農地帯として知られています。また、酪農以外にも肉用牛の飼育、養鶏などが農業の中心になっています。また、富士山の湧水を利用して、ニジマスの養殖が盛んに行われ、国内屈指のニジマス養殖の産地になっています。経営体当たりの農業産出額が大きいことも富士宮市の特色の1つです。大規模な農業を営んでいる企業（農業法人）も数多く存在しています。また、このような地元食材を活用した食のまちづくり、「フードバレー構想」も進められています。



観光業

世界文化遺産の富士山を中心とした観光業



平成25年6月、富士山が世界文化遺産に登録されました。富士宮市では、富士山域（山頂の信仰遺跡群、大宮・村山口登山道）の他に、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、人穴富士講遺跡、白糸ノ滝の6か所が構成遺産となりました。平成29年12月には、「富士山一信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えていくための拠点施設として「富士山世界遺産センター」が竣工しました。併せて、市内の宿泊施設・観光施設の充実が進められ、国内外から多くの観光客が訪れています。また、近年のキャンプ等のアウトドアブームの盛り上がりがあるなか、朝霧高原エリアも注目されています。

04

富士宮市の食



富士宮市の食とは？

富士宮市は富士山の恩恵を受け多くの食に恵まれています。伏流水がもたらす豊かな水源、日本一の標高差、火山灰地質、温暖な気候など、この地ならではの自然の恵みを受けた食材・食物・食文化があります。

数字で見ると？

富士宮市の令和5年農業算出額は静岡県内2位であり、全国でも有数の農業のまちです。豊かな自然資源の恩恵を受けた多種多様な食材が、富士宮市の食文化の形成に大きく関わっています。

食産業の魅力

POINT 01

富士山がもたらす豊かな水源を活用した食品が多く、富士山の麓ならではの食品が目白押し！

POINT 02

酪農に適した広大な自然を有する富士宮市北部地域では、観光サービスに結びつけた食品を展開！

POINT 03

豊かな食が集まる地域として「フードバレー構想」を掲げている食の分野に積極的なまち！

名産品 01

富士宮やきそば



豊かな湧水をもとに長年食品加工業が発展し、現在4つのやきそば麵製造業者が存在します。今や

全国的に人気のあるご当地グルメの代表格として親しまれる一品となっています。

名産品 02

にじます



富士山の伏流水に育まれた豊富な水源は富士宮の土地で「虹鱒(にじます)」の養殖業の繁栄をも

たらしました。市内には、静岡県の水産試験場をはじめ、民間の養鱒業者が数多く存在し、全国屈指の生産地となっています。

名産品 03

牛乳



朝霧高原の豊かな自然で育った牛の生乳は品質が自慢です。牛乳は牧場ごとに個性豊かな味わ

い。富士の国乳業の牛乳は学校給食でも提供され富士山の恵みを子どもたちに届けています。

名産品 04

卵



日本一の産出額を誇る富士宮の卵。富士山麓の恵まれた環境で育てられた鶏から採れる卵は富

士宮市を代表する名産品です。

プリン

牛乳と卵を使ったプリンを「富士宮プリン」としてブランド化し、付加価値の高いプリンを提供しています。



▲令和6年プリンまつり

05

富士宮市の 観光



富士宮市の観光とは？

日本を象徴する富士山をはじめ、数多くの歴史的建造物や、広大な自然を生かしたレジャー施設など、多種多様なスポットが存在します。また、各季節ごとに祭りも催され、四季を感じつつ富士宮市の文化に触れることができます。

数字で見ると？

富士宮市の産業内訳中、宿泊業・飲食サービス業は1.2%で全国平均と同水準という状況です。市内の観光エリアごとに見ると朝霧高原エリアの入込客数が特に多く、富士宮市全体の令和6年度の入込客数は約586万人となっています。

観光産業の 魅力

POINT 01

雄大な自然からなる観光
スポット多数！市街地は
もちろん、山間地ならではの
観光を楽しめる！

POINT 02

歴史的建造物が多く、
富士宮市の歴史に触れながら
観光を楽しむことができる
お得なまち！

POINT 03

一年を通じてたくさんの
まつりが行われています！
地域住民との交流が深められる
富士宮の文化のひとつ！

スポット 01 朝霧高原



富士山西麗に広がる緑豊かな高原です。日本有数の酪農地帯であり、あちらこちらに乳牛が緑の草の上に横たわる姿を見ることができます。初夏の朝夕に霧が発生することが多く、そこから「朝霧」の名が付けられました。多くのキャンプ場や牧場施設があり、人気の観光名所です。

スポット 02 狩宿の下馬桜



1193年、源頼朝が催した「富士の巻狩り」は、馳せ参じた騎馬や武者10万騎、その他の者を含めた数はおそらく数十万にのぼったといわれています。頼朝が馬から降りたところだと伝えられている「狩宿の下馬桜」が4月中旬に美しい花を咲かせます。国内最古級のヤマザクラともいわれ、国の特別天然記念物に指定されています。

スポット 03 田貫湖



田貫湖は朝霧高原の一角にある神秘的な湖です。富士山の全景を仰ぐビュースポットとして知られています。また、逆さ富士・ダイヤモンド富士が見られる名所としても有名です。湖畔は桜の名所になっており、春の桜や秋の紅葉と富士山との美しいコントラストが描かれます。キャンプ、ボート遊び、釣りなども体験できます。

富士宮市のまつり



流鏝馬まつり（5月）



富士山御神火まつり（8月）



富士宮まつり（11月）